

2013年1月21日
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社 IIJ グローバルソリューションズ

IIJグループ、中国国内でクラウドサービスの提供を開始

-- 中国2大キャリアとのインターネット接続で低遅延のクラウドサービスを世界で初めて提供 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)とIIJの100%子会社で法人向けWANサービス事業等を展開する株式会社IIJグローバルソリューションズ(IIJグローバル、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩澤 利典)は、IIJグローバルの上海現地法人である艾杰(上海)通信技术有限公司(IIJ Global Solutions China Inc.)を通じて、クラウドサービス「IIJ GIO CHINA サービス」を本日より提供開始しました。

IIJ GIO CHINA サービスは、仮想化サーバタイプと専有サーバタイプを選択できるクラウドサービスです。既に2012年9月30日から試験サービスを提供しており、本日より正式サービスを開始しました。仮想化サーバタイプは、CPU性能・メモリ容量・ディスク容量・OSを選択可能で、月額350元からという低価格で提供します。サービス設備は上海のデータセンター内に設置されており、中国語・日本語・英語によるサポートを行います。お客様は自社で機器を用意する必要がなく、容易かつ迅速に中国国内のサーバ環境を利用することができます。

本サービスのインターネット基盤は、中国2大通信事業者であるチャイナテレコム(本社:中国北京市)とチャイナユニコム(本社:中国北京市)に接続し、遅延の少ない通信環境を提供します。これまで両社をまたぐ通信は、遅延や切断が発生することが多くありましたが(通信の南北問題)、本サービスでは、当社側でより速い接続を自動選択して提供します。本接続方式によるクラウドサービスは世界で初めてとなります。

IIJは日本国内で、2009年からクラウドサービス「IIJ GIO サービス」を展開しており、既に800社を超える法人に採用されています。中国市場においても強いクラウド需要が見込まれるため、2012年3月からサービスの開発を進めてきました。IIJが国内で培ってきたクラウドサービスの運用ノウハウを活用し、日本市場と同レベルの高品質で柔軟性の高い本格的なクラウドサービスを中国国内で展開します。

■IIJについて

株式会社インターネットイニシアティブは、1992年、日本で初めて商用でインターネット接続サービスを提供する会社として設立されました。現在では、約6,500社の法人顧客に対して、インターネット接続、クラウドなどのアウトソーシングサービス、WANサービス、システムインテグレーション、運用管理などの各種ネットワークサービスをトータル・ネットワーク・ソリューションとして提供しています。IIJについての情報は <http://www.iij.ad.jp/> をご覧下さい。

■ IIJ グローバルソリューションズについて

株式会社 IIJ グローバルソリューションズは、AT&T ジャパンの国内ネットワークサービス事業を承継し、2010 年 9 月に設立されました。国内ネットワーク・アウトソーシング・サービス関連事業やクラウドを利用した各種マネージドサービスに加え、IIJ グループにおける国際事業の担い手として、国際ネットワーク関連サービスを提供しています。2012 年 1 月に上海に現地法人「艾杰(上海)通信技术有限公司」を設立。IIJ グローバルソリューションズについての情報は <http://www.iijglobal.co.jp/> をご覧下さい。

報道関係お問い合わせ先

IIJ グループ 広報部 村松、増田

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>

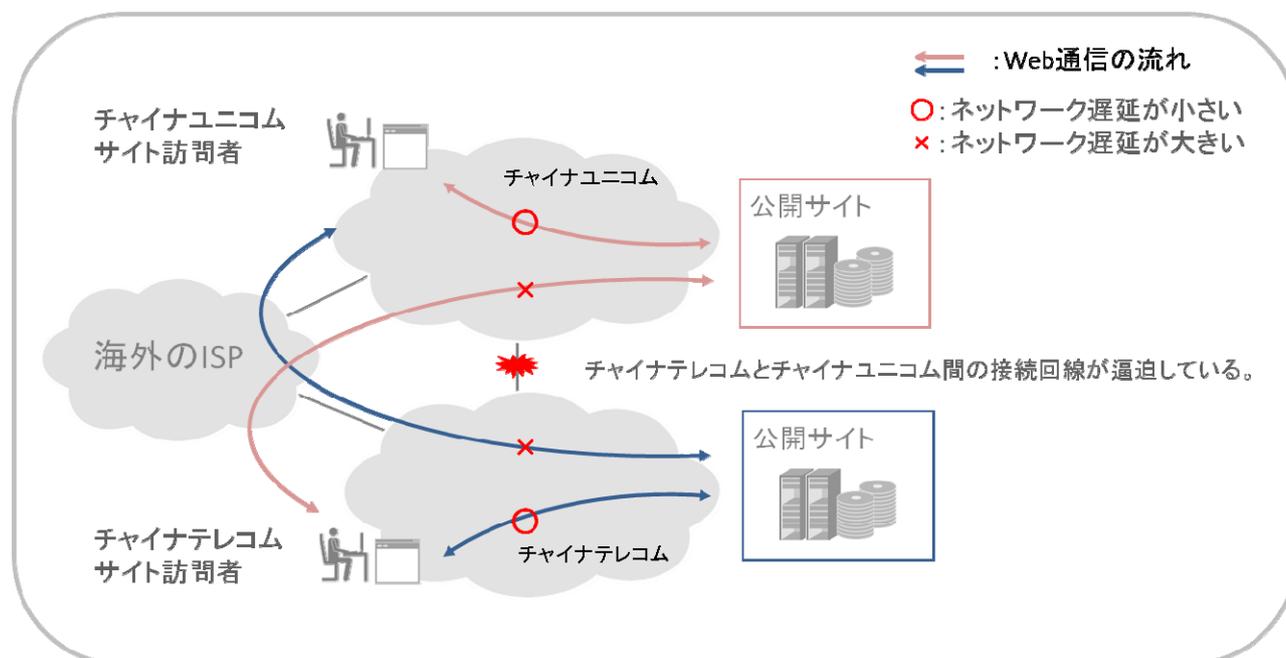
■IIJ GIO CHINA サービス仕様

ベースサーバ	Vシリーズ(仮想サーバ)					Xシリーズ(物理サーバ)
グレード	V10	V20	V40	V80	V160	X240
CPU 性能指標 (ICU) (※)	1ICU	2ICU	4ICU	8ICU	16ICU	24ICU
メモリ	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	48GB
ディスク容量	30GB (IP-SAN)					300GB (RAID1)
ディスク追加 (有償オプション)	100GB, 300GB, 500GB の領域を、 1 台のベースサーバに 2 つまで追加可能					—
NIC	4					
インターネット接続	南北問題解決型					
OS	CentOS/Windows					

※24 ICU = 6 コア×2 相当

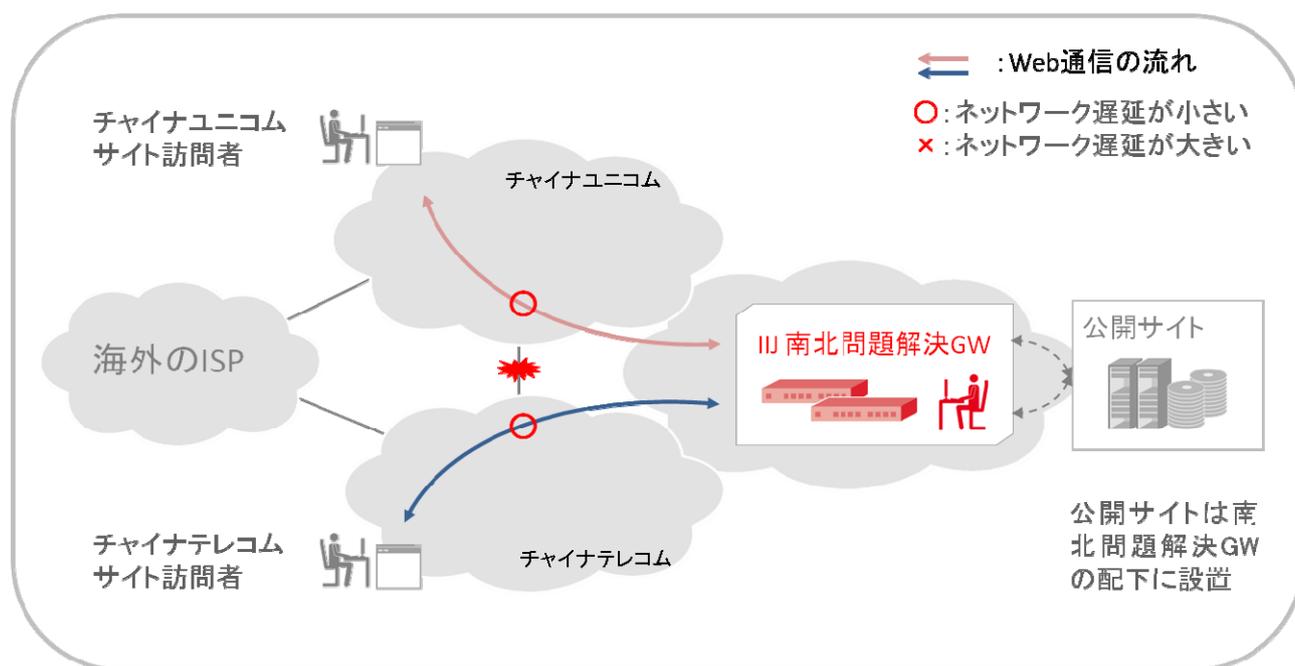
■通信の南北問題への対応

1. 本サービス導入前



チャイナテレコムのユーザがチャイナユニコムに接続している公開サイトを訪問する場合、海外等のプロバイダ経由となる可能性が高く、アクセスが遅くなります。チャイナユニコムのユーザがチャイナテレコムに接続している公開サイトを訪問する場合も同じです。

2.本サービス導入後



チャイナテレコムのユーザが公開サイトを訪問する場合、チャイナテレコム経由となります。チャイナユニコムのユーザが公開サイトを訪問する場合、チャイナユニコム経由となります。

【お詫びと訂正】

2013年1月21日の発表時に、「IIJ GIO CHINA サービス仕様」のXシリーズ(物理サーバ)のグレードを誤って掲載しておりましたので、1月24日に正しい記載に改めました。

誤)X120 → 正)X240

お詫びして訂正いたします。